

R 5 学校教育自己診断アンケート 結果と考察

1. 肯定の割合

項目	生徒	保護者	教員
(生) 学校へ行くのが楽しい (保) 子供は、布施高校での生活に満足している	87.9	91.0	-
(生・保) 本校に入学して人間的に成長したと思う (教) 人間的に成長するような教育活動を行っている	83.8	83.7	91.7
本校は社会に役立つ有意義な人材を育成しようとしている	79.8	81.2	83.3
(生・保) 学力のつく授業が多い (教) 進度や難易度が適切になるよう授業を行い学力のつく授業が多い	81.7	78.7	94.5
物事を深く考えたり、判断したり、発表する機会のある教え方を工夫している先生が多い	84.4	-	86.1
補習や補講が生徒のニーズに沿って行われている	74.0	67.1	77.7
学習の評価は、テストの得点だけではなく生徒の努力や授業に取り組む姿勢等含めて行われている	89.5	-	97.2
生徒の興味・関心、適性・進路に応じて選べる選択科目が多い	84.2	77.7	55.5
授業以外にも知的な興味・関心を持つ場が多い	70.3	64.9	-
本校の学習だけで進路達成に必要な学力が身につく	60.1	44.9	77.8
部活動と勉強の両立が出来ている	66.0	64.1	72.2
本校のコース（アドバンスト・スタンダード両コース）は学習環境の充実や進路実現に役立っている	83.8	81.3	41.7
本校のコースのカリキュラムは、興味・関心や進路実現に満足できるカリキュラムである	82.7	75.8	66.6
本校は進路についての情報をよく知らせている	90.1	72.4	97.3
本校のこれまでの進路実績に満足している	84.3	79.1	72.2
スタディサプリ、到達度テスト、模試（学力テスト）は学習に取り組む態度を改善するために役立っている	70.5	72.6	-
学校生活について先生の指導には納得できる	77.7	81.4	-
本校は悩みや相談に親身になって応じてくれる	82.6	78.9	91.7
ホームルームや「総合的な探究の時間」などで進路や生き方について考える機会がある	90.1	-	86.1
ホームルーム活動は活発で、クラス全体で積極的に取り組んでいる	83.3	-	86.1
創造祭・体育祭などの学校行事に生徒が主体的にとりくめるよう工夫されている	94.6	93.1	75.0
本校は部活動や自治会活動などの自主的な力を伸ばしていく教育活動に力を入れている	91.5	85.9	77.8
いじめなど、困っていることがあれば真剣に対応してくれる	88.5	80.3	97.2
本校において、人権の大切さを学ぶ機会が多い	83.4	69.9	69.4

本校で地震や火災の際の対応は知らされている	83.6	62.0	91.6
本校は清掃が行き届いている	43.1	62.5	30.6
先生は他の人に知られたくない秘密を守ってくれる	89.7	-	-
本校は国際理解教育に力を入れている	83.7	81.7	83.3
教室・特別教室・運動場などよく整備されている	68.0	72.1	-
（自習室を利用した人に聞きます）自習室は学習時間の確保に役立っている	83.2	-	91.6
『朝の小テスト』は学力や学習意欲の向上に役立っている	70.8	-	65.7
配布物や『さくら連絡網』により連絡や行事予定がよくわかる	86.6	93.7	
本校の Web ページは充実しており情報量も豊富である	70.4	72.9	77.2
本校はプロジェクターを効果的に活用して授業を行っている	93.7	-	100.0
本校は生徒一人 1 台端末（クロームブック）を効果的に活用している	79.1	-	83.3
PTA 活動は活発である	-	83.7	86.1
本校は、生徒の意見や考え方を聞いてくれる	-	76.2	-
保護者の声が教育活動に反映されている	-	69.4	-
この学校の学校行事に参加したことがある	-	74.8	-
アクティブ・ラーニング型の授業を実施した	-	-	69.5
VOD（Video on demand）型学習（ex.スタディサプリ）は学力向上に役立っている	-	-	38.9
本校はさまざまな地域の活動に参加・貢献している	-	-	66.7
校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている	-	-	44.4
教科において「教材の共有化」は進められている	-	-	83.4
本校がめざす学校像を実現するために、教職員は同僚性を高め、協力して教育活動を行っている	-	-	47.3
運営委員会は、十分に機能している	-	-	77.2
本校は計画的に人材育成を行っている	-	-	38.9
担任と担任外の仕事の格差は縮小してきている	-	-	47.2
教育活動に必要な情報について、生徒保護者や地域への周知に努めている			68.5

2. 結果と考察

【全般】

○生徒へのアンケート 35 項目中 32 項目で肯定的な割合が上昇し、うち 23 項目において 80% を超え、90% を超えたものも 5 項目あった。保護者においては 29 項目中 19 項目、教員は 38 項目中 31 項目で上昇がみられた。

○「学校へ行くのが楽しい」の質問に対し肯定的な回答をした生徒は 87.9%、「子供は、布施高校での生活に満足している」で肯定的な回答した保護者は 91.0%と昨年とほぼ変わらず高い値であった。また、「本校に入学して人間的に成長したと思う」で肯定的な回答した生徒は 83.8%、保護者 83.7%と昨年同様高い値であった。

【学習指導、進路指導等】

- 「物事を深く考えたり、判断したり、発表する機会のある教え方を工夫している先生が多い」の質問に対し肯定的な回答をした生徒は 84.4%、教員 86.1%であり、ともに昨年に比べ大きく上昇した。また、「学習の評価は、テストの得点だけではなく生徒の努力や授業に取り組む姿勢等を含めて行われている」で肯定的な回答をした生徒は 89.5%、教員 97.2%であり、新学習指導要領に基づく観点別学習状況の評価の導入により、ともに昨年に比べ大幅に上昇した。
- 「生徒の興味・関心、適性・進路に応じて選べる選択科目が多い」の質問に対し肯定的な回答をした生徒は 84.2%、保護者 77.7%であるのに対し教員は 55.5%、「本校のコース（アドバンスト・スタンダード両コース）は学習環境の充実や進路実現に役立っている」で肯定的な回答をした生徒は 83.8%、保護者 81.3%であるのに対し教員は 41.7%、「本校のコースのカリキュラムは、興味・関心や進路実現に満足できるカリキュラムである」で肯定的な回答をした生徒は 82.7%、保護者 75.8%であるのに対し、教員は 66.6%と、いずれも昨年同様、生徒・保護者の肯定率が高いのに比べ、教員は現状に課題を持っているものと考えられる。各教員が感じている課題を情報共有し意見交換するとともに、より一層教員間の意思疎通を図っていく必要がある。
- 「本校は進路についての情報をよく知らせている」の質問に対し肯定的な回答をした生徒は 90.1%、教員 97.3%であった。また、「本校のこれまでの進路実績に満足している」で肯定的な回答をした生徒は 84.3%、保護者 79.1%、教員 72.2%で、いずれも昨年に比べて上昇した。今後も生徒一人一人が希望する進路をかなえることができるよう支援していく必要がある。

【生徒指導・自治会活動等】

- 「本校は悩みや相談に親身になって応じてくれる」の質問に対し肯定的な回答をした生徒は 82.6%、保護者 78.9%、「いじめなど、困っていることがあれば真剣に対応してくれる」で肯定的な回答をした生徒は 88.5%、保護者 80.3%といずれも上昇した。今後もよりいっそう生徒・保護者に信頼してもらえるよう、教育相談体制等のさらなる充実を図っていく。
- 「創造祭・体育祭などの学校行事に生徒が主体的にとりくめるよう工夫されている」で肯定的な回答をした生徒は 94.6%、保護者 93.1%、「本校は部活動や自治会活動などの自主的な力を伸ばしていく教育活動に力を入れている」で肯定的な回答をした生徒は 91.5%といずれも大幅に上昇し高い値であった。自治会を中心に、学校行事を生徒が主体的に運営することができている。

【学校運営】

- 「本校のWeb ページは充実しており情報量も豊富である」の質問に対し肯定的な回答をした生徒は 70.4%、保護者 72.9%、教員 77.2%と、3年連続して改善した。今後はさらに情報量も増やしながらか見やすいページにしていく。
- 「運営委員会は十分に機能している」の質問に対し肯定的な回答をした教員は 77.2%と昨年度に比べ 12 ポイント上昇した。2年前に比べ大きく上昇しており、運営委員による学年・分掌での横断的な連携が定着しつつあると思われる。
- 「校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている」の質問に対し肯定的な回答をした教員は 44.4%と昨年度に比べ大幅に減少した。また、「本校は計画的に人材育成を行っている」で肯定的な回答をした教員は 38.9%と昨年度とほぼ変わらず、研修の実施と経験の浅い教員の人材育成を計画的に行っていく必要がある。

【その他】

- 今年度は、4月と5月に台湾からの学校訪問を受け入れ生徒同士の交流を行った。また、3月末にはオーストラリアへの語学研修も予定している。そのようなことから、「本校は国際教育に力を入れている」の質問に対し肯定的な回答をした生徒は 83.7%、保護者は 81.7%と昨年度から大幅に上昇した。今後も海外の生徒との交流を積極的に継続していく。
- 「本校は清掃が行き届いている」の質問に対し肯定的な回答をした生徒は 43.1%、教員 30.6%と昨年に引き続き低い値であった。次年度は毎日の清掃に加え、大掃除等を徹底して行う必要がある。
- 「配付物や『さくら連絡網』により連絡や行事予定がよくわかる」の質問に対し肯定的な回答をした生徒は 86.6%、保護者 93.7%と高い値であった。